



OGORI TOWN

広報

# お祭り

ウインズ小郡（仮称）調査特別号

平成14年5月17日

JRAとは  
JRAは  
日本中央競  
馬会の略語。  
日本国内の公営競馬の5競  
技（中央競馬、地方競馬、  
競輪、競艇、オートレース）  
のうちの中央競馬を主催す  
る農林水産省の管轄にある  
特殊法人です。



ウインズ八幡

新緑の候 町民の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびウインズ小郡（仮称）設置検討委員会の最終報告を受けました。「ウインズ小郡（仮称）」の進出は、小郡町にとって税収の増加や活性化につながりますが、周辺に与える影響も心配されるため、町ではウインズの場合、これまでの経緯、各地のウインズ視察結果等を広報特別号として広く町民の皆様にお知らせすることにいたしました。

この問題は、地元地権者から平成11年2月に誘致の協力について陳情を受け、すでに4年が経過をいたしました。設置検討委員会からの最終報告がなされ、一定の区切りがございましたのでご報告するものであります。

今後情報提供に積極的に努め、議会や町民のみならずのご意見を拝聴しながら慎重な分析のもとに判断してまいりたいと考えております。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

平成14年5月

小郡町長 岩城精二

# ウインズ小郡(仮称)を考える◆これまでの経緯

仁保津  
流通企業団地

ウインズ小郡(仮称)誘致予定地である仁保津流通企業団地は、地元の地権者53名が土地区画整理組合を

結成し、土地区画整理事業により平成7年から10年にかけて造成した土地です。

団地の全体面積は、8・3ヘクタール。造成後、当初予定していた企業がこの団地への進出を取りやめ、

バブルの崩壊と国道とのアークセスが悪いという条件が重なり土地活用は依然として進まず、約5ヘクタールの宅地が未利用となっております。

ウインズ小郡(仮称)の誘致



▲ウインズ小郡(仮称)の誘致予定地である仁保津流通企業団地は、中国自動車道小郡インターチェンジの東、JR山口線と樺野川に囲まれた約5ヘクタールの土地

土地活用が進まないなか、銀行からの借入金返済に苦慮していた組合の地権者は、「ウインズ小郡(仮称)」(場外馬券売り場)の誘致の検討をはじめました。平成10年8、10月には類似施設であるウインズ八幡(北九州市八幡東区スペースワールド北側)を視察し、JRA、ウインズへの理解を深めました。そして、平成11年2月、組合としてウインズを誘致することを決め、町及び町議会に誘致の

協力を陳情しました。

また、組合では、地区周辺の住民の理解を得るため、平成11年2月から町議会、仁保津地区周辺区長などのウインズ八幡視察や仁保津上、岩屋、仁保津東、新町東上1班、白土区において延べ8回の説明会を行っています。

ウインズ小郡(仮称)設置検討委員会

地元仁保津下区では、平成11年7月にウインズ八幡を視察すると共に検討委員会を組織、3回の協議の末、同年8月の区総会で誘致を決定しました。そして、交通、防犯、雇用、施設利用など6項目の付帯条件を付け同意承諾書を町へ提出しました。

このように、ウインズの



ウインズ八幡ガーデンプラザ(大型映像前)

進出により発生する影響は大きく、また内容も複雑なことから、町ではウインズ小郡(仮称)設置検討委員会を平成13年3月に設置、影響を分析しました。委員会は、区長協議会、婦人会、教育委員、学校関係者、PTA、地元自治会、議会からの代表及び行政による20名で構成され、平成14年3月、分析の結果を報告しました。

# ウインズ小郡(仮称)を考える ウインズ立川視察報告



ウインズ立川

八幡、米子、新白河、石和、立川のウインズを視察し、進出した市町村へ与える影響を把握することに努めました。石和町(山梨県)では、ウインズがもたらす行政へのメリット・デメリットを把握するため、役場担当者にお話を聞きました。

また教育面での影響を把握するため、ウインズの近郊に教育施設がある立川市(東京都)を訪れ学校関係者の生の声を聞くことにしました。ここでは、立川市について報告します。

立川市を訪れた平成13年11月9日、10日はレースの開催日、車の誘導や歩行者の安全確保のためガードマンが要所要所に配置され、交通整理にあたっていました。ウインズによると、通常の開催日は、ガードマン60人が配置され、大きなレースが開催される日は、80人体制で対応しているとのこと。ウインズ前の道路だけでなく、周辺道路も清掃員が掃除を行っていました。施設入口では、ガードマンや職員による未成年者や暴力団の入館チェックが



路上駐車防止のためのコーン設置

が行われ、館内はテレビカメラによる監視や警察退職者が警備・監視にあたっていました。

ウインズ進出後、環境対策協議会が設立され、地元との定期的な連絡調整と発生した問題への迅速な対応を図っています。また、非開催日については、子どもを対象に映画試写会やボニー乗馬体験など地域密着の施設運営が行われています。ウインズ立川の施設から1キロメートル以内にある立川市立立川第三中学校、第三小学校、第七小学校の校長先生に状況をお聞きすると「昭和60年にウインズが開設されて地元及びPTAからウインズへの苦情・



▲地下駐輪場

問題提起はない。通学路の交通安全対策については、地元及びJRAがガードマンを配備しているの比以前より安全。また、ガードマン



ウインズ立川周辺

の対応が丁寧でクラブ活動時の登下校にも影響はない。子どもたちの学習面・生活面で影響は見られず、生活の乱れ、非行なども聞いていない。開校40周年式典の時、プラスバンドの制服を、また50周年ではコーラス用ひな壇を寄付していただきました。また、税金も増え学校に還元されています。」という答えをいただきました。

# ウインズ小郡(仮称)を考える

予想されるメリットとデメリット

ウインズとは

街中や郊外など競馬場以外の場所に設置された「場外勝馬投票券発売所」の愛称。JRAが、直接「勝馬投票券」を発売する施設で、全国30か所に設置されています。

現在、ウインズは勝馬投票券の発売所としての機能だけでなく、レースの醍醐味をそのまま味わうことができる映像装置やくつろぐことのできるレストコーナーなどの施設も充実させています。

(JRA資料より)

街に地元へ貢献します  
地域の活性化に

若者や女性を始め、ウインズには幅広い年齢層の人たちが数多く集まります。このような街の賑わいが、地元商店街等に新たな需要を起こしたり他のレジャー施設や商業施設の誘致原因にもなります。

地域への助成

ウインズのある街にはJRAから、地域の環境整備や地元の自治会、学校、消防等の活動、社会福祉事業に対して、様々な助成がおこなわれます。またウインズでは非開催日には施設の一部が開放され地元の人が利用することができます。

地域に新たな雇用を創出

ウインズでは、百名を超えるスタッフが働いています。この人たちの多くは地元から採用されており、交通整理、ガードマン、清掃など、多彩な業務に従事しています。このように新たな雇用を生み出す面でも、ウインズは地元へ貢献しています。



勝馬投票券発売機

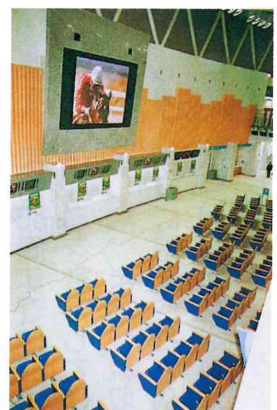


レストラン

## ウインズ新白河



東北エリアの拠点となる「福島競馬場」の南に位置し、福島県南部地区の新規ファンを獲得を目的として設置されました。設置にあたっては大手企業とのタイアップを行い、地元からも高い信頼を得ています。交通アクセスが良いため遠方から来場される方も多く、ウインズ内に設置されたファミリー向け施設と共に多目的な活用をされています。また、周囲の四季折々の自然にマッチした空間として地域に駆けこんだ施設です。



# ウインズ小郡(仮称)設置 検討委員会の報告及び デメリットと対応方策

(報告書の抜粋より)

ウインズの設置に伴う影響も見逃すわけにはいきません。そこで小郡町は町内の各界の意見を聞くため、ウインズ小郡(仮称)設置検討委員会を設置し影響を分析していただき、さる3月26日に報告書を提出していただいたところです。

☆**防犯・風紀**  
痴漢・不審者の発生や暴走族の溜まり場になるなど、防犯・風紀への影響が心配される。

☆**環境**  
ゴミ、騒音や車公害の発生など周辺住民へ環境面で問題を起こす。

この中で、地域の環境・青少年の健全育成・交通問題等に関して考えられる影響を報告していただきました。

☆**青少年の健全育成**  
未成年者が施設へ入場する恐れがあり、また、土・日でも遊びの延長線上が通学路であることや、クラブ活動のため登下校する生徒

がいることから青少年の健全育成へ影響がある。  
ギャンブルは大人や子供まで悪影響を与える。

施設の近辺に小学校、高等学校、短期大学があり、いわば文教地区のなかにウインズが設置される。

☆**交通**  
交通量が増加し、交通渋滞に巻き込まれ駐車場が不足することや周辺の生活道路へウインズの利用者の車が入り込むことで交通事故の発生につながる。

☆**その他**  
小郡のクリーンなイメージにそぐわない。



入口ではガードマンが安全を確認

## 主な影響の対応方策

これらの影響を最小限にとどめるため、JRAでは

地元警察署と協議し、ガードマンによる入り口での安全確認や未成年者の排除、交通整理や違法駐車規制及び広い範囲できめ細かい清掃を徹底しています。また、地元自治会や関係機関と連絡協議会(仮称)を組織し、発生した問題については協議・調整しながら施設の運営をおこなっております。

## 周辺道路網の整備

交通問題については、周辺道路網を見直すことにより、よりスムーズに安全に車が流れるよう検討を行っております。しかし、この道路網の整備事業には約11億円(現時点での試算)かかり、JRAから整備費の支援が5億円ありますが、それを超える整備費については各種の支援措置を検討し、町費の持ち出しについても慎重に判断していく必要があります。



周辺清掃



JRAの助成で新設された公園

## 計画概要（現時点）

- ◆ **業務内容** 中央競馬の勝馬投票券の発売及び払い戻し業務
- ◆ **年間開催数** 土曜・日曜を中心とした開催日（年間104日）
- ◆ **営業時間**  
開催日……通常 8：30から17：00  
平日払い…通常10：00から16：00
- ◆ **運営体制** 所長・副所長以下職員・嘱託数名を中心に、警備・案内、周辺交通整理、清掃、その他のスタッフ約150～200名（外注契約雇用）の体制で運営
- ◆ **来場予測**  
来場者……1日平均で約5,700名  
来場車両…1日平均で約2,300台
- ◆ **駐車場規模** 敷地内に約1,200台の駐車場を計画。また大レースの行われる日など駐車場が足りなくなる場合、小郡駅周辺に臨時駐車場を確保（検討中）
- ◆ **来場車両の動線計画**  
予定地へは、国道9号、中国自動車道（小郡IC利用）、県道61号を利用するルートが想定され、国道9号と予定地がJR山口線で分断されているため、JR山口線・国道9号を陸橋でまたぐ新設道路についてJR・警察・国土交通省など関係機関と調整中
- ◆ **他の輸送計画** 幹線道路である国道9号への負担を軽減し、公共交通機関の利便性を確保するため、小郡駅等からのシャトルバスの運行等の交通手段への振り替えを計画
- ◆ **年間売り上げ予想額** 約100億円
- ◆ **環境整備費** 年間約2～3千万円を周辺約2kmの範囲内の環境整備に使用可能
- ◆ **その他** 建物・駐車場等の施設計画については、現在JRA内部で検討中

## ウインズ小郡（仮称）

